

## 2008年度 科学基礎論学会秋の研究例会プログラム

日時：2008年11月22日（土）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス A会場 北館3階（旧4階）大会議室

B会場 研究棟1階 A会議室

### プログラム

10:00-12:00 A会場 「自然の階層と科学的認識」

オーガナイザー：中島敏幸（愛媛大学大学院理工学研究科 准教授）

中島敏幸（愛媛大学大学院理工学研究科）

「自然システムの階層とレベル間の相互作用」

草野完也（海洋研究開発機構 地球シミュレーターセンター）

「階層構造は存在するか？-流体とプラズマの科学的記述をめぐって-」

石川芳男（日本大学理工学部）

杉浦 桂（相模女子大学栄養科学部）

「生物の階層構造への自己組織化

-個体ベースモデルを用いた計算結果から見えたもの」

伊藤 希（筑波大学大学院生命環境科学研究科）

「言語としての生物学的階層」

B会場 「数理論理学と無限論」

オーガナイザー：菊池誠（神戸大学大学院工学研究科 准教授）

山田竹志（東京大学大学院総合文化研究科）

「自然数概念の曖昧性について」

依岡輝幸（静岡大学理学部）

「公理的集合論における論理」

江口直日（神戸大学工学研究科）

「算術における可述性と現実計算可能性」

12:00-12:15 A会場 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式

12:15-13:30 昼休み 企画委員会（研究棟1階 B会議室）

13:30-15:30 A会場

**「いま、遺伝子を考える」**

オーガナイザー: 森元良太 (慶應義塾大学 非常勤講師)

赤坂甲治 (東京大学大学院理学系研究科教授/附属臨海実験所所長)

「遺伝子と進化」

戸田山和久 (名古屋大学情報科学研究科)

「エボデボほどの程度革命的なのか」

森元良太 (慶應義塾大学)

「進化から観た遺伝子概念」

西脇与作 (慶應義塾大学)

「さまよえる遺伝子とその概念」

B会場 **「シューメイカーの性質因果説の批判的検討」**

オーガナイザー: 金杉武司 (高千穂大学人間科学部 准教授)

塩野直之 (福井県立大学学術教養センター)

「シューメイカーの性質の形而上学」

金杉武司 (高千穂大学人間科学部)

「シューメイカーの性質の形而上学と心的因果の問題」

前田高弘 (大阪大学)

「クウィディティスティックなクオリア」

16:00-18:00 A会場

**「量子力学における因果性・局所性・実在性」**

オーガナイザー: 白井仁人 (一関工業高等専門学校 助教授)

東 克明 (東京海洋大学)

「量子力学の哲学における実在論的立場の可能性」

北島雄一郎 (京都大学大学院文学研究科)

「準実在主義の観点からみた代数的場の量子論の解釈」

内山 智 (北星学園大学短期大学部)

「観測命題の束の非ブール性の原因」

白井仁人 (一関工業高等専門学校)

「世界の実在性と物理量の非実在性」

B会場 **「性質の形而上学と因果性」**

オーガナイザー: 小山虎 (慶應義塾大学 非常勤講師)

山口 尚 (京都大学人間・環境学研究科)

「因果のヒューム主義的分析の展望」

海田大輔 (関西大学)

「因果的トロープ主義の擁護」

佐金 武 (京都大学)

「時制化された性質による現在主義と因果」